

千葉県消防協会印旛支部消防操法大会

並木町・飯田町
両チームが県大会へ

第27回(財)千葉県消防協会印旛支部消防操法大会が7月1日、北羽鳥多目的広場を会場に開催され、先の成田市消防操法大会で優勝した並木町(ポンプ車の部)、飯田町(小型ポンプの部)両消防団が成田市代表として参加しました。この大会に向けて厳しい練習を重ねてきた両チームは、本番でも素晴らしい操法を披露。ともに準優勝に輝き、7月28日(土)に千葉県消防学校(千葉市中央区)で行われる第43回千葉県消防操法大会に印旛支部代表として出場することになりました。



ポンプ車の部・並木町チーム



小型ポンプの部・飯田町チーム

アクアビクス教室

水中で楽しく
エクササイズ

水中で音楽に合わせて運動するアクアビクス教室が6月16日、大栄B&G海洋センターで行われました。陸上のスポーツと違い、アクアビクスは水の浮力のおかげで膝や腰への負担が少ないのが長所。参加者は「先生の指導のとおりすると、呼吸も楽で息があがることもなく楽しむことができます」とはつつとしていました。



音楽に合わせて

一日入国審査官

中学生が入国審査を体験

実際の入国審査の現場を通じて入国管理業務への関心を深めてもらう「一日入国審査官」に6月15日、市内の中学生が委嘱されました。成田国際空港で利岡東京入国管理局成田空港支局長から委嘱状を交付された西中と吾妻中の1・2年生8人は、職員から業務の説明を受け、入国審査場の審査ブースへ移動。「ハブ・ア・ナイス・トリップ」などと旅行者に声を掛け、笑顔でパスポートを手渡していました。中学生たちは「外国の方にしっかり英語が伝わるよう気をつけました」「相手の外国の方も笑顔でサンキューといってくれたのがうれしかったです」と話していました。



審査ブースでパスポートを渡す

生のクラシック音楽を学校に



高嶋さん(中央)と松井さん(右)の指導にちょっと緊張気味(?)の沼尻くん(右から2人目)と須賀澤くん(左)



美しいヴァイオリンの音色に耳をすませ

プロのクラシック奏者が学校へ出向き、子どもたちに生の演奏を聞かせるアウトリーチ(出張・ミニコンサート)が6月12日に玉造中学校で開催され、テレビなどでおなじみのヴァイオリニスト・高嶋ちさ子さん、松井利世子さん(同)、近藤亜紀さん(ピアノリスト)が奏でる優雅な調べに、およそ300人の聴衆が酔いしれました。これはTDK株式会社の社会貢献活動の一環として全国各地の学校で実施されているもので、今回参加したのは玉造中と豊住中の生徒・保護者など。演奏以外にも希望者による体験講座、玉造中2年生の根岸俊介さんのヴァイオリン演奏、質問コーナーなどが行われました。ヴァイオリンを生まれて初めて弾いたという玉造中2年生の沼尻輝元くんは「3年生の須賀澤辰也くんは「弾いているときに指がじんと響く感じがした。いい経験ができた(沼尻くん)」とても緊張したが、意外にいい音が出てびっくりした。もつといろいろなことに挑戦してみたくなった(須賀澤くん)などとうれしそうに話していました。」

成田市近隣スポーツ少年団ラグビー交流大会

小さなラグーマンたちが奮闘

成田市近隣(成田・印西・千葉・匝瑳)のスポーツ少年団ラグビークラブが市球技場に集まり6月10日、交流大会が開かれました。子どもたちは、U-12(12歳以下)とU-10(10歳以下)に分かれリーグ戦方式により熱戦を展開。青々としたピッチ上に「あきらめるな!」「行け!」と歓声を響かせていました。



果敢にトライを狙う成田チャオズの選手



梅を刻んで梅マヨネーズづくり

梅料理講習会

梅を使ってヘルシー料理づくり

梅の剪定講習会など梅を通じた地域おこしに取り組んでいる下総ふれあい事業実行委員会による梅料理講習会が6月7日、保健福祉館下総分館で行われました。栄養士から梅の効用や梅を使ったさまざまな料理法の紹介を受けた参加者は、「梅マヨネーズサラダ」や「冷しゃぶの梅みそかけ」などのヘルシーメニューづくりに挑戦。試食後には「梅のすっぱさが食欲を誘い、これからの暑い夏にいいですね」と口をそろえていました。